

# 飼料用米

## 飼料用米で耕畜連携

### ◆市町村・地域

JA会津みどり管内

(会津坂下町、柳津町、三島町、昭和村、金山町、会津美里町、湯川村)

### ◆21年度取組面積 31ha (20年度 5ha)

### ◆取組主体 JA会津みどり

### ◆取組内容

飼料用米の栽培には、会津坂下飼料米研究会が県の試験研究機関と連携して早くから取り組んできました。平成20年からは、JA会津みどり飼料用米研究会を設立して管内一円に対象を広げ、多様な米づくりの一環として飼料用米の生産拡大に取り組んでいます。

### ◆支援制度の活用状況

水田等有効活用促進交付金、産地確立交付金、需要即応型生産流通体制緊急整備事業など。

### ◆低コスト技術等の実施内容

水田等有効活用促進交付金に対応した低コスト技術として、専用品種「ふくひびき」の導入、温湯種子消毒による薬剤費の削減、高度施肥管理、直播栽培(一部ほ場)などに取り組んでいます。

### ◆特徴的な取組み

平成20年産の飼料用米は、「(有)会津地鶏みしまや」が会津地鶏に給与しているほか、一部は全農福島を通じて麓山高原豚への給与など地域での利用を進めています。また、耕畜連携の取組みとして、飼料用米収穫後のわらの利用も進めています。



鉄コーティング種子による直播の様子  
(平成21年5月13日)